

第2回竹野地域デザイン懇談会を開催しました

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の発出と、その措置期間の延長に伴い延期しておりました「第2回竹野地域デザイン懇談会」を、7月12日（月）午後7時から竹野地区コミュニティセンターで開催しました。「地域デザイン懇談会」とは、地域に必要な施設・公共サービス提供機能について、市民の方々と一緒に議論する場です。

今回の懇談会では、第1回（3/14開催）において、参加者の皆さまに5つの指標（①生活機能 ②利用機能 ③経済機能 ④安全安心機能 ⑤風土形成機能）で各公共施設を診断していただきましたので、まずその集計結果について報告を行いました。

次に、その集計結果も参考にしながら、各グループで議論を行いたい個別の施設を決めてもらい、その施設について意見交換をしてもらいました。参加者の皆さまから出された意見については、「施設（ハコモノ）自体への意見」と「施設でのサービスへの意見」に区分し、最後に各グループワークでの結果を発表してもらいました。



●第3回地域デザイン懇談会開催予定と傍聴についてのお知らせ●

【第3回開催日時について】

日時：2021年8月3日（火）午後7時～／場所：中竹野地区コミュニティセンター

【傍聴について】

傍聴をご希望の方は、竹野振興局地域振興課へ電話、またはEメールにてお申し込みください。

- (1) 対象者：竹野地域に在住・在勤の方
- (2) 定員：10名まで（定員になり次第、申込受付は終了します。）
- (3) 申込先：電話番号 47-1111 Eメール takeno-chiiki@city.toyooka.lg.jp
- (4) 申込時連絡内容：①氏名 ②住所 ③連絡先電話番号
- (5) 申込期限：2021年7月30日（金）

参加者の皆さまからの意見の一部を紹介します

◇コミュニティセンター◇

- ・高齢者にとっては遠い、2階にあって分かりづらい（竹野）
- ・活動について、もう少し宣伝、アピールが必要（竹野）
- ・階段しかなく、2階の部屋は利用されていない（中竹野）
- ・活動は盛んにしている（竹野南）

各班で発表しました↓



◇東大谷野外活動施設（たけのこ村）◇

- ・鉱山跡があるので、セットでうまく活用できれば
- ・野外音楽祭を開催してみてもおもしろい
- ・公募して民間業者に運営を任せてみるのも良いのでは

◇川湊館◇

- ・人の出入は多く、集まる場となっている
- ・子供たちが集える環境づくりが必要
- ・見るだけでなく、売り物を増やしては

◇北前館◇

- ・営業時間が短い(営業開始時間を早めてほしい)
- ・北前船資料館のアピールができていない
- ・観光センター（観光協会）を入れてはどうか

◇椒地域ふるさと生きがいセンター◇

- ・選挙の投票所として利用できないか
- ・避難所としての利用価値しかないのか、バリアフリーではないので一時的

◇その他全般・総論◇

- ・竹野小学校が移転しても、浜地区の避難所として残してほしい
- ・中竹野小学校跡を、ホテル・レストラン・オフィスなどに活用できれば
- ・竹野南小学校の跡地利用をしっかりと考えないといけない
- ・竹野南デイサービスを、森本保育園の場所に移しては
- ・竹野中央公園はナイターがあれば利用が増えるのでは



◆ご意見・ご感想◆

- ・高齢化、人口減少に対する危機感が感じられた。
- ・残せない施設もあると思われる。残留可能な施設について議論を深めるべき。
- ・災害はいつ来るかわからないところから、命を守ること、場所など考えさせられた。
- ・それぞれの場所で生きがいを持って暮らせることを重点的に考えていきたいと思った。
- ・他地区の人との議論や意見を聞く時間があってもよいのではないかと思う。
- ・市として廃止が決まっている施設の意見（検討）はいらなかった。
- ・今後どうするべきかもっと具体的な会議を持ちたい。 【参加者アンケートより】

当日の配布資料など、詳細は市ホームページをご覧ください。

【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進室 電話 21-9129
竹野振興局地域振興課 電話 47-1111